



彫刻・工芸部門 特選 「とびっきりの秋」



洋画部門 特選 「行騰幻想」

68th NOBEOKA ART EXHIBITION

市美展

入賞・入選 目録



グラフィックデザイン部門
特選 「のべおか天下一薪能」

会期：平成30年6月30日(土)～7月13日(金) 【休館日：7月3日(火)、10日(火)】
会場：延岡総合文化センター展示室1・2 【開館時間：午前9時～午後5時】
主催：延岡市美術展覧会実行委員会・延岡市・延岡市教育委員会・延岡市文化連盟

◇ 後援(順不同)◇

宮崎県・宮崎県教育委員会・延岡市議会・延岡商工会議所・(一社)延岡市医師会
延岡農業協同組合・(一社)延岡市西臼杵郡薬剤師会・旭化成(株)延岡支社
センコー(株)東九州主管支店・清本鐵工(株)・宮崎日日新聞社・夕刊デイリー新聞社
(一社)延岡市歯科医師会

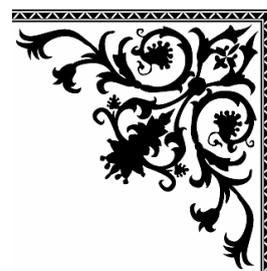
洋 画

特選	延岡市長賞	米 良 俊 男	行滕幻想	アクリル
準特選	延岡市教育長賞	三 谷 文 男	蟬時雨	油彩
準特選	延岡市文化連盟会長賞	上 原 順 子	ありか	油彩
奨励賞	延岡市議会議長賞	水 津 保 家族		油彩
奨励賞	センコー(株) 東九州主管支店長賞	高 橋 絵 美 里	真夏の一秒	水彩
奨励賞	延岡市西臼杵郡 薬剤師会長賞	窪 田 利 重	返し波	油彩
奨励賞	延岡市美術展覧会 実行委員長賞	赤 澤 隆	夏の庭	油彩
努力賞		濱 田 憲 明	孫の詩	アクリル
プラチナ賞		首 藤 孝 子	踊Ⅱ(チャチャチャ)	油彩
プラチナ賞		茄子田洋子	モモ2個	水彩
無鑑査		後 藤 光 雄	ガンダーラの夜明け	アクリル
無鑑査		八 木 隆 幸	まるの詩・2018-01-12	油彩
無鑑査		トラウトマン クリストファー	鉄輪	木炭等
無鑑査		田 中 節 子	祝福	油彩

米良俊男さんが、通算三度目の特選を獲得されたため、無鑑査となりました。



入 選



池田見一	天下一・羽衣の舞	油彩	白石幸代	「 Look at me 」	油彩
市原哲郎	廃船の沈む入江の風景	水彩	杉本晃一	高千穂の峡谷	油彩
伊東珠貴	binary code-bokusui	アクリル	関哲子	早春の阿弥陀岳	油彩
上ノ山泰子	立春に降る雪	水彩	寺地良子	追憶	油彩
上山晴久	神さん山の刻Ⅱ	油彩	野村幸枝	遠い日	油彩
大久保安一	孫	水彩	畑田禮子	古木	水彩
大坪眞佐子	愛と癒しのファンタジー(平和)	油彩	原浪代	寝起きのすみれちゃん	水彩
大山久雄	時空を超えて	油彩	廣瀬貴至	生命「路傍の生と死」	油彩
岡田正二	The、ずっきーに	パステル アクリル	藤本恵三	Blue watch	版画
尾谷青子	樹	油彩	松山敏夫	田舎	油彩
落合直文	まどろむ	油彩	蓑毛覚	未来Nobeoka	アクリル
川崎圭子	樹魂	油彩	宮崎定旨	富士山(忍野村より)	油彩
菊次麻鈴	熱を知る	アクリル	八木千穂子	庭園XIV 2018. 6	水彩
久保ケイ子	新緑と涼(南郷)	油彩	柳田佳代	大きいけど小菊	水彩
佐藤幸義	共生	油彩	山崎郁夫	春の陽気に誘われて	水彩
眞田昌良	孫たち「そっちがー。」	水彩	横山優	小野の秋	油彩
志田嘉嗣	時は「鐘」なり		陸丸敦子	おだいっさん	油彩

日本画・水墨画・ちぎり絵等

特選	延岡市長賞	岡田 恵子	バラの咲く家	日本画
奨励賞	延岡市美術展覧会 実行委員長賞	岡田 洋子	白 い 椿	ちぎり絵
努力賞		戸高 秀喜	紫陽花に蝶。 蝋 螂 図	日本画
プラチナ賞		佐藤 藤美	庭のあじさい	水墨画
無鑑査		原 辰 義	パワースポット	剪画
	入選	森 福 子	優しい思いで	ちぎり絵
		湯地イチイ	古 里	ちぎり絵

グラフィックデザイン

特選	延岡市長賞	舘山 幸雄	のべおか天下一新能
奨励賞	旭化成(株) 延岡支社長賞	近藤 庸弥	世界遺産 (未来への提言)
努力賞		福田ちよな	夢の宇宙旅行
無鑑査		木田 柁子	語 部
	入選	古川友江	ことり新聞
		梅木三千世	それでも、あなたは生きている
		玉木 藍子	ふしぎな場所がここにある～延岡～
		岩本七菜	ダイエット効果
		山本 聖	ギョットギョット



彫刻・工芸



特選	延岡市長賞	甲斐富美子	とびっきりの秋	パッチワーク
準特選	延岡市教育長賞	壺岐陽子	菊（着物）	友禅染
奨励賞	延岡市医師会長賞	工藤武人	六カエル東京五輪	陶芸
奨励賞	延岡市美術展覧会 実行委員長賞	森本洋通	生 物 I	卵殻 モザイク
努力賞		野間啓子	ティー・タイム	押し花
プラチナ賞		関武司	馬ケ背	陶芸
プラチナ賞		梶本勝	鈴（銅作品）	金工
無鑑査		芝行則	渉 匣	彫刻
無鑑査		武田弘子	アメリカでの火星移住実験 (居住棟・グリーンハブ・太陽光発電)	友禅染
無鑑査		中村有子	幾何学紋六角柱器「明日美」	陶芸

入 選

伊作とよ子	幸せを呼ぶ尾長鶏	パッチワーク	高見昭夫	渋い輝き
石川ハル子	パリ鎮魂と躍動	パッチワーク	田上多津美	ガーベラ(着物)
甲斐卓雄	生きる	色彩 レリーフ	堤和子	おもてなし
甲斐正行	般若	彫刻	藤岡郁子	マジックボックス
川崎えつ子	飾卓の薔薇	刺繍	松島シズ子	色遊び
黒木英勝	徳利・瀑水	陶芸	宮田泰子	折鶴の舞
黒木善弘	鉄地桜九曜紋 上り藤透し鏝	金工		

書 道

特選	延岡市長賞	城戸雅子	富翠	寄題江外草堂
準特選	宮崎県知事賞	牛迫孝子	春香	王嘉謨詩
奨励賞	延岡市議会議長賞	佐藤ナオミ	翔華	偶桓詩
奨励賞	延岡市医師会長賞	中田由美子	聖泉	杜牧詩
奨励賞	清本鐵工(株)社長賞	植野洋一	桂石	杜甫詩
奨励賞	延岡市美術展覧会 実行委員長賞	甲斐洋子	春宵	蘇東坡詩
努力賞		西田幸市	天外	高青邱卷十六
プラチナ賞		谷口隆幸	鶴城	立原道造の詩

無鑑査
招待作家

西村香枝子 和香 蘭溪。

無鑑査

植野春雄 聖鳳 杜甫詩

無鑑査

尾崎真人 宝舟 和顔愛語

無鑑査

西村寿洋 玄洋 戲書

無鑑査

山浦秀子 柏秀 尋隱者韋九山人

招待作家

大塚洋子 葉風 山中春盡

招待作家

原田さゆり 桑峰 初恋

城戸雅子さんが、通算三度目の特選を獲得されたため、無鑑査となりました。





入 選

安藤チカ子	恵泉 喜雪	黒木正子	霞葉 秋柳
飯干朗	千峰 王文治詩	坂本淳	静峰 孤掌難鳴
伊藤由美子	春華 萬葉集秋の雑歌二首	佐藤茂樹	柏樹 西津別妓
上杉秀子	秀香 田家晚泊	篠原和子	和葉 仲春舟発廣州詠懐
植田紘士	六燕 桃源漁父行	丹波のり恵	瑤翠 雪
上野和子	和風 春の野に	年森恵	祥雲 桃源漁父行
植野寿美	寿泉 早過南湖	新名美幸	秀瑛 遣懐
植野幸雄	竹山 王鐸詩	西田登美子	美風 擬古答澤民
尾池綾美	秀美 揚州	羽田久美子	祥苑 調和体 林芙美子の詩
岡崎亜希子	一華 天平山	古田勝太	勝柏 次韻前篇
岡村公子	瑛翠 鴛鴦湖	三浦律子	柏寿 青青盆中松
小田千穂	紅扇 おのづから	山本加代	涛香 黄巖道中
小野静	麗華 山夜	吉岡陽子	陽亭 寒雨朝行視園樹
甲斐かおり	香風 寄虞山王石谷	吉田美紀	紫苑 みよし野の
河内真弓	柏真 五月東魯行	渡邊康子	翔香 雨止
城戸裕行	鳳翔 和紙の美		

写 真

特選	延岡市長賞	福川原敏憲	瞬光
準特選	宮崎県教育長賞	笠村陽一	神降る郷
準特選	延岡市教育長賞	松田菊治	光芒
準特選	延岡市文化連盟会長賞	持原弘和	秋の夜の夢
奨励賞	延岡商工会議所会頭賞	宮良信道	城山彩光
奨励賞	延岡市歯科医師会長賞	阿部紫織	message
奨励賞	延岡農業協同組合代表理事組合長賞	甲斐直志	薄氷華
奨励賞	旭化成(株)延岡支社長賞	池田晃二	森の妖精
奨励賞	宮崎日日新聞社賞	押方徹	散歩道
奨励賞	夕刊デイリー新聞社賞	川越洋治	炭窯開きの日
奨励賞	延岡市美術展覧会実行委員長賞	段ノ上三男	ニードルの星空
努力賞		内倉政子	池の彩り
プラチナ賞		永山淳	砂の紋
無鑑査		高橋ミサ子	楽屋
無鑑査		後藤司郎	フラミンゴ



入 選



アーナー恵子	私の光	白谷俊一	金ボタルの森
芥美奈子	方財の夕景	雀ヶ野秀憲	年男達の厄払い
阿部節子	雫の淡色	須田勉	落ち葉と少女
飯干幸一	蛍がわ	高島章碩	私の青空
井上博	手力雄の舞	高萩和夫	夕映えの大崩山系
植野浩人	レクイエム	高見秋子	かっぱ
上野福男	いんぎり回す	田中芳典	黄金色のシルエット
大山久雄	ミナトボタル	千葉雄一	阿蘇霧水
岡崎宏之	島のノラたち	戸高一	黄昏時のやな場
岡野勉	芝桜咲く丘	富山隆志	早春の陽だまり
小田中等	思いやり	富山恵	臼太鼓踊り
乙部武志	愁彩	長友道生	大橋遠望
甲斐啓一	水辺の小景	新名光子	大根掛け
甲斐孝一	鬱金香	馬場和久	REBORN
甲斐民人	ふたりの世界	春口五男	捕まえたぞ
甲斐靖一	ゆるやかな時の流れ	深江清文	いいことあるかな？
片伯部かおり	ちょっと待って～	堀田宗範	工場群夜景
川野政弥	夜神楽	増田豊水	夕景
河野康哉	薩摩、田の神戻し	松尾香代子	兄弟けんか
菊池貢	モルゲンロート(朝焼け)	松本幸三	気合！！
清永俊	夜の散歩道	御手洗実	ひたむき
小出恒子	祖母山を眺む	宮崎金男	夕焼け干潟
児玉美智子	古木の生き様	宮本哲伸	天空のトロッコ列車
酒井義満	夕暮れトワイライト	三輪慶八	竹林の花
坂元利子	なーに？	守田敏和	光跡
笹田照夫	「森の精霊たち」	守田陽子	お供え馬の走り込み
佐藤孝夫	島を照らす月光	山田悦子	雑木林
佐藤卓志	異星人	山元順子	通学路
佐藤力祥	新富神楽	吉村俊祐	幻の桜タワー～僕だけの絶景～
島田眞由美	夜神楽	若松敏男	祭だ！
重黒木周作	百代のフォロ・ロマーノ	和田章良	炎遊会
白倉智子	橋窓の額縁		

審 査 講 評

審査員の氏名は、敬称を省略させていただきました。

【洋画部門】 熊本市（崇城大学教授・日展特別会員・白日会常任委員）熊谷 有展

第68回延岡市美術展覧会・洋画部門の審査をさせていただきました熊谷有展です。

4回目の審査員となりますが、栄えある本展の審査をさせて頂く喜びと、公平で厳正なる審査をしなければならないという緊張感をもって臨ませて頂きました。

また、今回どのような作品と出合えるかと、とても楽しみにしておりましたが、私の期待以上の力作揃いで、実際審査を悩ませました。その中から、特に印象深かったもの何点かについて述べさせていただきますと思います。

まず〈特選〉米良俊男さんの「行滕幻想」は、幻想的な濃い青の画面の中に、細い線のハッチングの重なり具合や、マチエールの効果も利用した表現が、とても良い緊張感のある画面を生み、鳥の羽ばたく表現がとても美しい、静寂の中に良い効果をもたらしている。技術的な事では、テンペラと油絵の混合技法で表現すると、更に深みのある表現が出来るかもしれません。

〈準特選〉上原順子さんの「ありか」は、画面の色彩表現の豊かさの中に人物がとても良く表現された佳作です。

〈準特選〉三谷文男さんの「蟬時雨」は、生き生きとした筆さばきが心地良く、油彩の醍醐味である伸びやかなタッチで、夏らしさがよく表現されています。

〈奨励賞〉水津保さんの「家族」は、生き生きとした家族の様子、強さ、力、愛おしさが表現された秀作です。惜しくも三賞にはなりませんでしたが、最有力作品でした。

〈奨励賞〉窪田利重さんの「返し波」は、海の色彩と岩場の暗い色彩の美しさが見事に響き合い、〈奨励賞〉高橋絵美里さんの「真夏の一秒」は、とても面白い画面構成、

〈奨励賞〉赤澤隆さんの「夏の庭」は、描かれたモチーフは少々不思議ではありますが、赤と緑の美しさは秀でています。

〈努力賞〉濱田憲明さんの「孫の詩」は、とても楽しい画面構成になっており、他の作品とは違う美しさがあり目を惹きました。

〈プラチナ賞〉首藤孝子さんの「踊Ⅱ（チャチャチャ）」は、躍動感のあるとても伸びやかな表現であり、対して、〈プラチナ賞〉茄子田洋子さんの「モモ2個」は、静かに冷静にモチーフを見つめ語っています。この2点は対称的な作品ではありますが、どちらも年齢を重ねられた力を感じる秀作です。

その他に、藤本恵三さん、野村幸枝さん、尾谷青子さん、川崎圭子さん、廣瀬貴至さん、上山晴久さん、市原哲郎さんの作品が賞候補となり、目を惹きました。今後の展開がとても楽しみです。

今回惜しくも入選とならなかった作品の中にも、それぞれにきらりと光るものが本当に沢山ありました。自分の良いところに更に磨きをかけて、皆さま、是非また挑戦していただきたいと思います。

【日本画・水墨画・ちぎり絵等部門】

大分市（大分県立芸術文化短期大学教授）

河上 央

68回目を迎えた延岡市美術展覧会の日本画・水墨画・ちぎり絵等部門は、応募作品は少なかったですが作品それぞれに一生懸命制作しているという気持ちが伝わってきて楽しく審査をしました。

発想や構図、そして表現への技術力など様々な要素が作品を作り上げますが、今回も素材の違った作品を比較して入落を決めるのは大変苦労しました。

ともあれ、審査はまず日本画の作品をまとめて、次に水墨画、ちぎり絵といった順に見ていくことにしました。日本画では、岩絵具を使って苦心して描かれた素朴な作品や、物を真剣に捉えようとしている作品に惹きつけられました。水墨画では、墨の濃淡、ぼかし、かすれなどの表現を通して趣のある作品に心打たれました。ちぎり絵では、手漉き、手染め和紙を用いて、その特有の柔らかさや染色の美しさを活かし、四季折々の花や風景を風情豊かに表した作品がそろっている印象を受けました。切り絵・剪画では、繊細な切れ味の鋭い線や温かい線などを調和させた巧みな作品に感心しました。

特選の岡田恵子さん「バラの咲く家」は、しっかりとした写生を基に繊細に表現された作品だと思います。奨励賞の岡田洋子さん「白い椿」は背景の黒が白い花を際立たせ、神秘性を感じました。努力賞の戸高秀喜さん「紫陽花に蝶・蝸牛図」は素直なものの見方で、隅々まで丁寧に描かれています。プラチナ賞の佐藤藤美さん「庭のあじさい」は、温くもりのある雰囲気のでた作品に仕上がっています。

惜しくも入選に漏れた方の作品からも楽しさが伝わって来ました。今後の努力を期待したいし、また次回も応募されることを願っています。

最後になりましたが、全国公募という珍しい市美術展について、市をあげて熱心に取り組まれている実行委員の皆さんに敬意を表し、今後の更なる発展を祈念いたしまして講評といたします。

【彫刻・工芸部門】

福岡市（九州産業大学造形短期大学部教授）

辻嶋 寿憲

今回の出品作品の中に、彫刻・オブジェ作品が見られなかったことは残念ですが、工芸分野では、陶芸、金工、竹工、染色、パッチワーク、押し花絵画と、多岐にわたった技法、素材の作品が出揃い壮観です。

以前にも審査員を務めさせていただき、今回で3度目となりましたが、毎回感じることは、延岡市美術展の彫刻・工芸部門の作品群には、伸びやかで、明朗な美が溢れているということです。これは、出品者の皆さんが、物づくりの仕事と真摯に向き合い、創造の喜

びを、常に感じとられていることの現れに他なりません。

出品作品中、布を素材とした技法作品が目立ちましたが、中でもパッチワークの作品群は力作ぞろいでした。裁つ、縫うという手芸の技法をしっかりとおさえたうえで、独創的なデザイン・構図を持ち出し、細やかな配色の調和を表品しています。

今回、〈特選〉となったパッチワーク作品「とびっきりの秋」は、コスモス花が咲きそろった、秋晴れの高原の爽やかな風景を、遠近法を使い、絵画的に表現しながら、素材の布の特性を良く活かした力作といえます。

〈準特選〉の「菊（着物）」は、手描き友禅の確かな技法の上に、控えめながら破綻のない構図と淡く細やかな配色が、繊細で上品な作品となっています。

〈奨励賞〉の「生物Ⅰ」は、彩色された細かな卵殻を、1年半をかけて貼り合わせるという、気の遠くなるような繊細な仕事ですが、水中の魚の顔をクローズアップさせた大胆な構図と美しいファンタジックな色彩が魅力的な作品です。

今回、2名のプラチナ賞（80歳以上）があり、他の受賞された方々も65歳以上で、高齢な作り手の活躍が頼もしいところですが、さらには、若い年齢層の出品も待ち望まれるところではあります。

【グラフィックデザイン部門】

福岡県大川市（デザイナー）

龍 由美子

グラフィックデザインとは、平面に文字や画像や配色によって情報やメッセージを多くの方に伝えることを目的としたものですが、近年グラフィックデザインというジャンルは多種多様に広がりを見せ、身近なものでは、ポスターやフライヤー、マーク・ロゴタイプ・ピクトグラムデザイン、ウェブデザイン、プロジェクトマップなど目にする機会が増えたことは言うまでもありません。

本来のグラフィックデザインの使命に立ち返り、今回の審査の基準にしたのが ①わかりやすさ ②独創性 ③センスです。〈特選〉の舘山さんは、以前も同じテーマで出品され受賞されていますが、今回の「のべおか天下—薪能」は、迫力のある能の文字とイラストや写真やパターンを効果的に配し、大胆かつ繊細なレイアウトが光る作品で、伝統的な色使いも相まって群を抜いてすばらしい作品でした。〈奨励賞〉の近藤さんの「世界遺産（未来への提言）」は独特なタッチのイラストのすばらしさもさることながら、すっきりとしたレイアウトが気持ちいい作品です。89歳でのご出品ですが、プラチナ賞ではなく、あえて奨励賞に選出させていただきました。〈努力賞〉の福田さんの「夢の宇宙旅行」は、タイトル通り夢のあるストレートでわかりやすい表現のほほえましい作品です。少し惜まれるのが、文字の配置と書体です。今後の学習ですごく伸びていられる方だと思います。古川さんの「ことり新聞」は個性あるイラストやコラージュを効果的に使いセンスが光る作品ですが、惜まれるのが全体にメッシュのコラージュをしたため、肝心の内容が読みづらくなっていることです。梅木さんの「それでも、あな

たは生きている」は、白い背景のマチエール、くしゃくしゃの紙と赤い糸、それにそっと添えられたコピーというアイデアにうならせられました。

出品数が11点と少なかったのですが、全体に非常にレベルの高い作品ばかりで、出品者の年齢も幅広く、他の美術展にはない特徴ある延岡市美術展に今後も期待しています。

【書道部門】

鹿児島市（鹿児島大学名誉教授 日展会員）

松清 秀仙

六十八回という歴史と伝統ある延岡市美術展覧会で、平成二十一・二十三年に次いで三回目の審査をさせて頂きました。七年ぶりの審査で楽しみに伺いました。まず、出品された全作品に対峙し、出品者の本展にかける熱気を覚えるとともに、甲乙つけがたい質の高さを感じました。それは古典をベースにして日々精進を重ねておられる健全な学書態度があるからだと思えます。一般的な作品の作り方、表現形式はよく心得えておられ、全国どこに出品しても劣らない作品なのですが、行間が不統一であったり、下半がつまったりして書き込み不足と思われる惜しい作品もありました。また、容易に作品に取り組まず、何か一つ、例えば、墨の量、墨色、線の太さ、文字の大小等、目標を明確に定めて書かれたら、更に飛躍するのではないかと思われる作品が数多く見受けられました。今回やむなく入選を逃した作品も紙一重です。是非とも来年に向けて努力してほしいと念じています。

〈特選〉の城戸雅子さんの行草五行の作品は、心地よいリズム感と緊張感が落款まで一貫している秀作です。〈準特選〉の牛迫孝子さんの作品は、線が引き締って連綿にも無理がなく、余白の白が美しい品格あふれる作品に仕上がりました。

作品上達の秘訣は日常の学書は当然のこととして、鑑賞が大切です、自分の作品、他人の作品の好ましい所、足りない所等を冷静に“観る”ことが大事です。それも会場という広い空間の中で“観る”ことだと思えます。

【写真部門】

大阪府（写真家）

斉藤 裕史

昨年に引き続き、今年も延岡市美術展覧会の審査をさせていただきました。審査会場に並べられた127点の作品。見た瞬間に惹きつけられる作品は、結局最後まで私の目に焼き付き、上位入賞に至ります。〈特選〉の「瞬光」は私が作品を見た瞬間から不動の〈特選〉でした。望遠レンズの視覚的圧縮効果により、満開の桜が見事なボリュームある舞台を作り上げ、そこに小さく配した列車。ヘッドライトはもちろんですが、そのライトに照らされたレールが印象的です。色温度による青みを帯びた幽玄な世界。誰もがこの世界に引き込まれるような素敵な作品です。〈準特選〉の「神降る郷」、「光芒」は、どちらも一期一会の出会いの瞬間です。その瞬間を、画面の中に一切ムダのない的確な構図、そしてその光を活かした露出はお見事です。〈準特選〉「秋の夜の夢」は星空の中に一本の柿の木と小さく配した人物が実に物語性とロマンを感じさせる作品です。地のライン上のわずかにあるハイライト部に人物を配するなど細かいこだわりを感じました。

日頃から、私は「肉眼で見る事が出来ない、写真ならではの表現」を心がけていま

す。出品された作品を見ると、意外にもボケ味を活かした表現の作品が少ないことに気づきました。肉眼は写真でいうところの絞りを絞り込んだパンフォーカスの世界。すべてにピントが合っているわけです。逆に言えば一点だけにピントが合った世界は写真ならではの世界。そして、肉眼の印象は焦点距離 50 ミリの世界。目で見たと通りの世界を脱するためには 50 ミリを含む標準ズームレンズから脱することが最初の一步、なんて思います。もっともっと写真ならではの世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。



◆第68回『延岡市美術展覧会』作品出品状況

※下段は昨年度

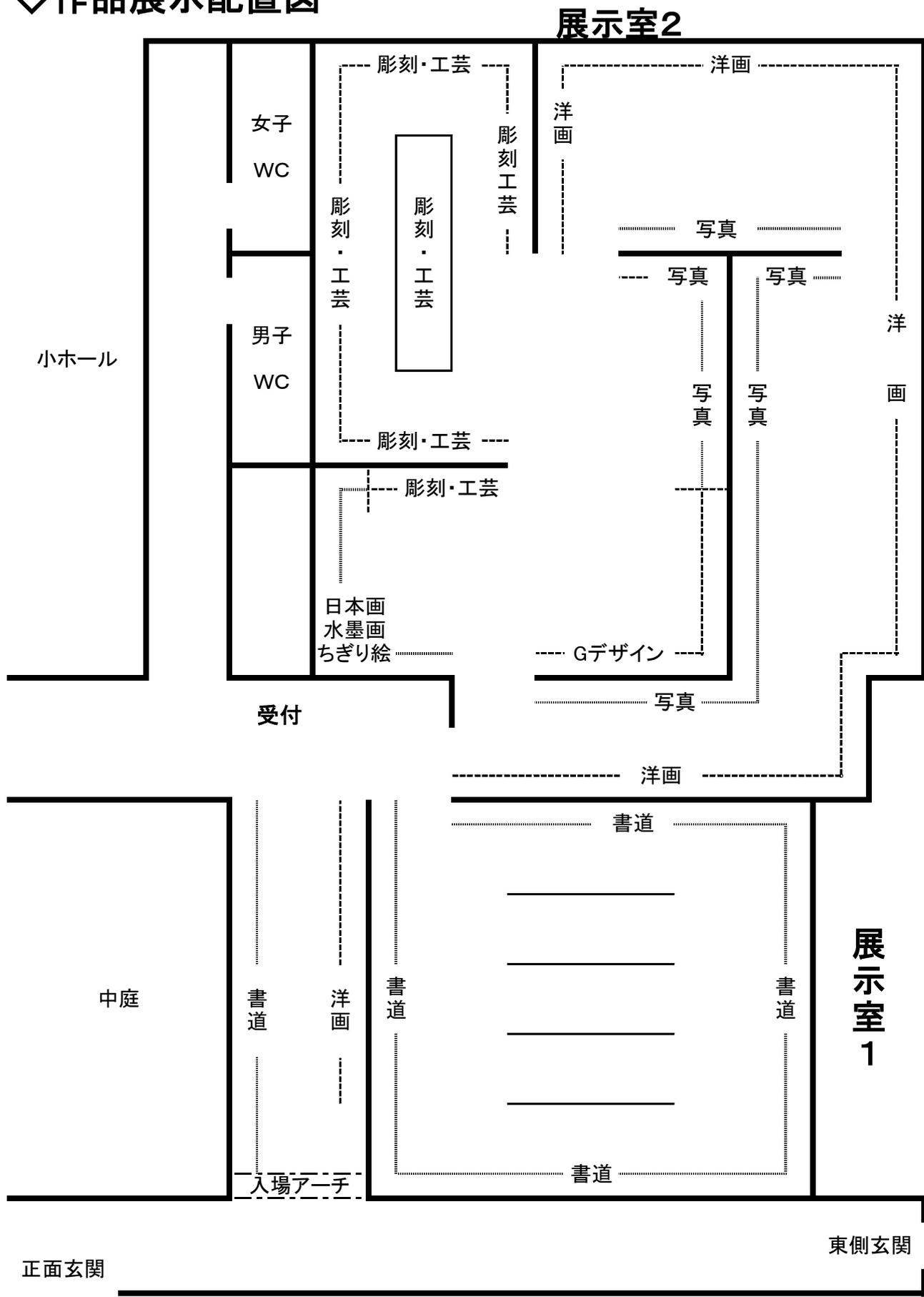
部門	出品者数		出品作品数			C 招待作家 無鑑査	合計 (無鑑査等含む)		入賞 作品数	入選 作品数
	A	うち2点 出品者	一般	学生	B 小計		出品者数 A+C	作品数 B+C		
洋画	57人	8人	63点	2点	65点	4人	61人	69点	10点	34点
	48人	10人	54点	4点	58点	4人	52人	62点	8点	28点
日本画 水墨画 ちぎり絵等	8人	1人	9点	0点	9点	1人	9人	10点	4点	2点
	16人	1人	17点	0点	17点	1人	17人	18点	3点	9点
彫刻 工芸	27人	5人	32点	0点	32点	3人	30人	35点	7点	13点
	27人	4人	31点	0点	31点	3人	30人	34点	5点	15点
グラフィック デザイン	10人	0人	5点	5点	10点	1人	11人	11点	3点	5点
	14人	0人	1点	13点	14点	0人	14人	14点	3点	8点
書道	52人	1人	53点	0点	53点	7人	59人	60点	8点	31点
	60人	0人	55点	5点	60点	6人	66人	66点	8点	37点
写真	101人	26人	127点	0点	127点	2人	103人	129点	13点	63点
	113人	37人	149点	1点	150点	2人	115人	152点	13点	72点
合計	255人	41人	289点	7点	296点	18人	273人	314点	45点	148点
	278	52	307	23	330	16	294	346	40	169点

※〈招待作家〉・・・全国規模の公募展で、顕著な結果を残された方の作品
 ※〈無鑑査〉・・・「特選 延岡市長賞」を通算3回受賞された方の作品

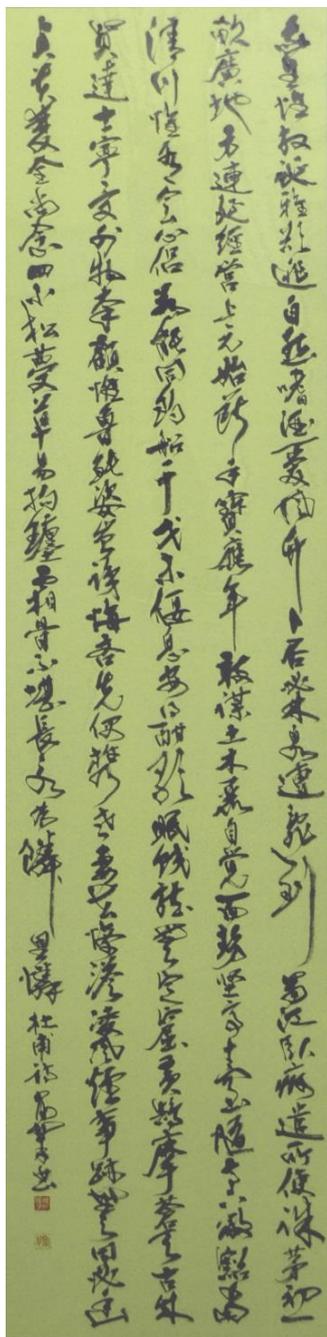
賞の名称	
〈特選〉	延岡市長賞
〈準特選〉	宮崎県知事賞 宮崎県教育長賞 延岡市教育長賞 延岡市文化連盟会長賞
〈奨励賞〉	延岡市議会議長賞 延岡市医師会長賞 旭化成(株)延岡支社長賞 延岡商工会議所会頭賞 延岡農業協同組合代表理事組合長賞 延岡歯科医師会長賞 延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞 清本鐵工(株)社長賞 センコー(株)東九州主管支店長賞 宮崎日日新聞社賞 夕刊デイリー新聞社賞 延岡市美術展覧会実行委員長賞
〈努力賞〉	※本市美展または他の美術展等で入賞歴のない方を対象とします。
〈プラチナ賞〉	※今回創設した賞で、満80才以上の方を対象とし、入賞歴は問いません。



◇作品展示配置図



68th 延岡市美術展覧会



書道部門 特選
「寄題江外草堂」



日本画・水墨画・ちぎり絵等 部門
特選 「バラの咲く家」



写真部門 特選 「瞬光」